

『すまいる通信』配信のお知らせ

毎月20日に
配信します



『すまいる通信』は、あらかじめご登録いただいた方にパソコンや携帯電話などのメールを利用して、支援に役立つ情報やイベントをお知らせするサービスです。ぜひご活用ください。

(情報利用料は無料。ただし通信料は自己負担となります)

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右の二次元コードより案内に従い、空メールを送信してください。

➡ <https://mail.cous.jp/setagaya-mail/>



〈配信元・問合せ先〉

世田谷区障害福祉部障害保健福祉課 TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
何かお困りのことがあれば、まず、世田谷区発達障害
相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階
TEL 03-5727-2235(代表)
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp/>

業務受託：社会福祉法人 トポスの会

〒123-0844 足立区興野2-18-12
TEL 03-5837-4830 FAX 03-3890-8121

「げんき」ホームページのご案内

「げんき」は発達障害に関する理解啓発のために、ホーム
ページを運営しております。

下記のコンテンツを中心に、随時更新しています。

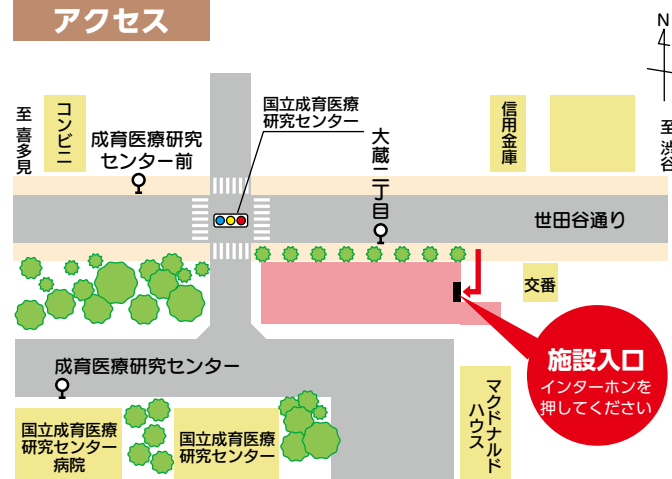
- 「げんき」・発達相談室の利用案内
- 講演会・講座・お話し会等のイベントの告知
- Gpressバックナンバーの掲載
- 発達障害関連情報の紹介

ぜひ、ご活用ください。

URL: <http://www.ryo-iku.jp/>



アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

(渋24) 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

(等12) 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

(用06) 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

(玉31) 二子玉川駅 ↔ 成城学園前駅

小田急バス

(渋26) 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」
で下車。成育医療研究センター行き、成城学園前駅行き、調布駅
南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

Gpress

せたがや

第43号

2021年7月発行

「ジープレスせたがや」

<http://www.ryo-iku.jp/Gpress>
GpressのGは愛称「げんき」のGです。

こんなお子さんの姿は ありませんか？

ことばで表現することが
にがて

話し方が幼い

ぼくは
がほしいのに！
なんていうのかな？

うまく
説明できない

ウチャギ

ジュボン

チュクエ

ことばに対する
にがてさが
隠れていることがあります

はやくて

いびしょ
っやんが
て

あかしん
ごいでん
とまらなくて

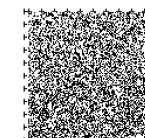
今号では、お子さんのことばを育てる遊びや大人の関わり方についてご紹介します。

まずは
お電話
ください

「げんき」では、発達障害に関する全般的な
ご相談をお受けしています。

03-5727-2236

(「げんき」相談専用番号)



ことばを豊かに育てるために、 子どもの伝えたいという気持ちを のばすように関わりましょう♪

先生からのひとこと

子どもを見守りながら、
何を伝えたいのか観察してみましょう。
ことばだけでなく様々なサインを受け止めて、
子どもの“本当に伝えたいこと”を
理解しようとする姿勢が大切です。



作成協力
言語聴覚士
三吉 聡子先生



うちの子は
「つみき」を「チュミキ」、
「おさかな」を「オシャカナ」
と言うんです



A

舌の動かし方が関係しています。「サ・シ・ス・セ・ソ・ツ」は発音が難しい音です。正しく発音するためには、口や舌を上手に動かす力が必要です。

舌を
たくさん
動かそう

顔全体を動かしたり、舌を動かしたりしてみましょう。よく噛んで食べることも大切です。なめたり、吸ったり、いろいろな舌の使い方をしてみましょう。「シャボン玉」や「にらめっこ」のような遊び、「ガラガラうがい」もおすすです。



ポイント

“伝えたい”という子どもの気持ちを受け止め、「そうだね。つみきだね」と正しい発音を示すとよいでしょう。



言いたいことがあっても、
上手くことばで表現
できなくて、泣いたり、
たたいたりしてきます



A

知っていることば・使えることばが、まだ少ないのかもしれない。ことばを使えるようになるためには、まず、理解できることばを増やすことが大切です。

わかる
ことばを
増やそう

実物を見せて、大人が「〇〇だね」と伝えることで、ことばが知識として定着しやすくなります。大人が自分の気持ちや行動をことばにして表現することも一つの方法です。



ポイント

子どもが興味をもっているもの・注意をむけているものを話題にしましょう。



自分の言いたいことを
一気に話すので、
話がわかりにくいときが
あります



A

自分の気持ちや出来事を伝えたいという思いが強く、衝動的に話しているようです。子どもの気持ちを受け止め、相手に伝わる話し方の見本を示してあげましょう。

整理
しながら
聞いて
みよう

「〇〇だったんだね。だから～と思ったんだね」と話を整理し、言い換えて伝えてみましょう。これは、話し方の見本になります。

話している子どもの顔を見て、大きな身振りやうなずいたり、相づちを打ったりして「あなたの話に興味を持って聞いているよ」という態度を見せることが、子どもの“伝えたい”という気持ちを育てます。



ポイント

「それはいつのこと？」「だれのおはなし？」と質問しながら聞くと、子どもの話が整理されて、理解しやすくなるでしょう。